仕様書

雷サッチャー

雷サージセンサー

Ｍｏｄｅｌ

ＶＳＳ－□□□□

■ 形式

ＶＳＳ－□□□□　（下記より選択）

設定　１０：１０Ａ
　　　２０：２０Ａ
　　　５０：５０Ａ

貫通孔　１０：孔径φ１０mm
　　　　１６：孔径φ１６mm
　　　　２４：孔径φ２４mm

■ 用途

雷サージの通過を検出

■ 特長

・市販の盤面取付カウンタでも使用可能
　但し、入力計数速度１ｋＨｚ以上対応の仕様であること
・専用電源不要です。

■ 性能

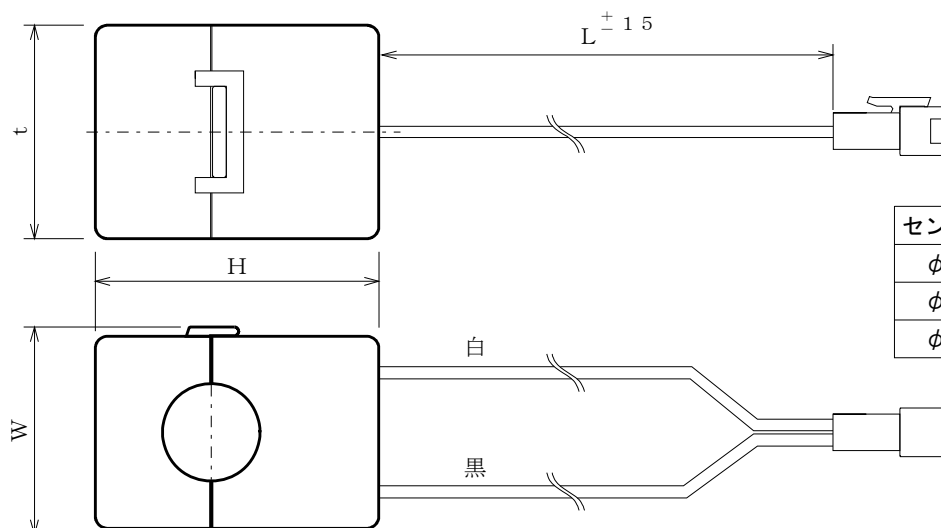
検出電流値：５Ａ以上､１０Ａ以上､２０Ａ以上､５０Ａ以上
(インパルス8／20μsにて)
出力ＯＮ時間：約１ｍｓ　オープンコレクタ
半導体出力　：無電圧オープンコレクタ（フォトカプラ）
　５０mA　３０VDC
耐　電　圧　：コアと出力間　ＡＣ１０００Ｖ１分間
最大許容電流：７２ｋＡインパルス（耐電圧の条件にて）
使用温度範囲：－２０～＋５０℃
使用湿度範囲：５～８５％ＲＨ以下（結露しないこと）
絶縁抵抗（筐体間）：１００MΩ以上（2次－コア間）
重量：φ１０　約４３ｇ
　　　φ１６　約７６ｇ
　　　φ２４　約１２６ｇ
材質：ケース　ナイロン６　ＵＬ９４Ｖ－０
　　　リセプタクルハウジング（ピンコンタクト用）
コネクタ：ＳＭＲ－０２Ｖ－Ｂ　黒色
　　　ピンコンタクト　日本圧着端子製
　　　ＳＹＭ－００１Ｔ－Ｐ０．６
　　　プラグハウジング（ソケットハウジング用）
　　　ＳＭＰ－０２Ｖ－ＢＣ　黒色　１個
　　　ソケットコンタクト　日本圧着端子製
　　　ＳＨＦ－００１Ｔ－０．８ＢＳ　２個
（以上４行　付属）
適用中継電線範囲：０．０８～０．３３mm²
　　　ＡＷＧ２８～２２
リード線引張り強度：０．５Ｎ（１０±５ｓｅｃ）
ケース脱着回数：約１００回

■ 端子接続図

⚠ 避雷針のアースには使用しないでください。
電流検出センサーの方向性はありません。

■ 御注文に際しまして

１．貫通孔をケーブルの外形寸法にあわせてご指定ください。
２．検出電流を１０Ａ, ２０Ａ, ５０Ａの３点よりご指定ください。
　※ ご参考としまして通常市街地などでは１０Ａ仕様を、山間部などでは５０Ａ仕様をお薦めします。

■ 外形図及び寸法（単位：mm）

センサー孔径	L	t	H	W
φ１０mm	１１０	２８	４０	２８
φ１６mm	１２０	３５	４７	３５
φ２４mm	１６５	４２	６６	４７

※ ご採用に際しまして、本器は入力回路でサージ信号を平滑して大きさを分類しています。従いまして、あくまでも簡易的な機器としてお取扱い願います。

取扱説明書

雷サッチャー

雷サージセンサー

Ｍｏｄｅｌ
ＶＳＳ－□□□□

本器は、雷害対策において電源ライン、制御ライン、電話回線などを通過ずる誘導雷サージを検出するためのセンサーです。弊社以外のカウンタと組み合わせることもできます。本器をより効果的にご使用いただくため、事前に下記の事項をご確認ください。

■ 各部名称

注意：

コネクタをはずすときはリード線を引かないようにハウジング（プラスチック部分）を摘まんでおこなってください。

■ 使用上の注意事項

①開閉部　　設置（勘合）させる際にコア表面にゴミ、異物などを挟まないようにしてください。
勘合が不十分であればはずれる可能性があります。

③貫通孔　　１次側の線は絶縁線を利用してください。裸線は使用しないでください。

③フック部　　開閉頻度は約１００回です。

④出力ケーブル　センサーのリード線は強く引かないでください。

⑤コネクター　延長ケーブルはＡＷＧ２８～２２でおこなってください。
参考まで　ＡＷＧ２８：直径０．３２１mm　面積：０．０８０９７mm^2
　　　　　ＡＷＧ２２：直径０．６６４mm　面積：０．３２５６mm^2
延長ケーブル作製の場合、コネクターのメーカー日本圧着端子社の資料をご確認の上加工願います。

■ 設置上の注意事項

ケーブルの長さは盤内対応として４m（ＡＷＧ２８にて）まで確認しています。

但し、パネル内のマグネットなどのノイズの影響がないことを考慮して配線をおこなってください。

また、動力などの近傍はさけてください。（電磁波などの影響に配慮してください）

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、１年間とします。
ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 設置方法

・電源ラインの場合

① 電源ラインは全線をクランプする
② 避雷器の通過確認は接地端子のところでクランプする。
③ 盤全体と接地間の場合は、アースバー以降でクランプしてください。
　盤全体が建物の鉄骨などに取り付いている場合は、計数はできません。

・同軸用避雷器の場合

■ センサーのつけ方

センサーＶＳＳの孔に対して直角が望ましい。
　孔径に対してケーブルが細い場合、ビニールテープやインシュロックなどで固定してください。

■ 設定よりさらに小さい雷サージを計数する方法

センサーＶＳＳの孔径に対してケーブルが細い場合となりますが、１回巻き数を増やすと通過電流は２倍となります。例えば設定２０Ａで１巻き増やせば１０Ａのサージを検出し計数することができます。

■ 設置に関する注意

近傍にノイズの発生源がある場合正しく計数しないことがあります。

・近傍にモーターなどある場合、常時ノイズが生じています。
・換気扇などある場合、スイッチのＯＮ／ＯＦＦでノイズが発生します。
・パネル内用の蛍光灯のＯＮ／ＯＦＦ時ノイズが発生します。

ＶＳＳ

（いずれも電波受信状態で防ぎようはありませんが、シールド線を使用するか、センサーＶＳＳの２本のケーブルをツイスト（捻じる）することで多少軽減できることもあります。）

ツストペアーケーブルにする方法はノイズ対策に有効な方法です。